



5月10日 「統括センター・営業統括センターの設立(第3期)について」に関する解明申し入れ
東地申第66号 **提出!**
【大崎営業統括センター】

2022年4月 「統括センター・営業統括センターの設立について」提案



詳細は 2022 年度
TOKYOMAILNEWS
No.289 をご覧ください。

2022年7月1日 営業統括センター第1期設立

2022年11月1日 営業統括センター第2期設立

**業務を熟知した
社員の育成が課題に!**

2023年3月16日 「統括センター・営業統括センターの設立(第3期)について」提案

2023年6月1日 統括センター・営業統括センター(第3期)設立



詳細は TOKYOMAILNEWS
No.278 をご覧ください。

そもそもの設立の目的は?

「社会の急速な変化を踏まえ『グループ経営ビジョン2027』の目指す鉄道起点のサービスから
ヒト起点のサービスへの転換に向けて、系統を超えて新たな価値の創造を一層推進していく
観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていくもの」

労使で確認!

当初の目的がすべての営業統括センターに当てはまるのか?

1. 大崎営業統括センターにおいて、今施策の目的をいかに達成するのか会社の考えを具体的に明らかにすること。
2. 大崎営業統括センターにおける駅毎の特情について、会社の認識を明らかにすること。
3. 大崎営業統括センターにおいて、異常時対応やこれまで目黒駅が管理している門扉、踏切について今後の対応方や教育方針を具体的に示すこと。
4. 大崎営業統括センターにおいて、運転・CS勉強会等、各種勉強会の必要性と今後の開催方法についての具体的に示すこと。
5. 大崎営業統括センターが設立以降、全社員が遺失物を取扱うこととなるが、遺失物法や遺失物管理システムの教育について具体的な考えとスケジュールを明らかにすること。
6. 大崎営業統括センターにおいて、勤務作成の方法、作成箇所、作成者の指定について考え方を具体的に示すこと。
7. 大崎営業統括センターにおいて、制服を着用し駅相互間を移動する際の考え方を具体的に示すこと。
8. 大崎営業統括センターにおいて、貸与品を保管するための個人用ロッカーなど必要な設備の整備について考え方を具体的に示すこと。
9. 大崎運輸区からの兼務者について目的を具体的に示すこと。また、今後の方針を明らかにすること。

組合員・社員の疑問や不安を解消するために、団体交渉の速やかな開催を求めます!